

噴火浅根の火山活動解説資料（令和5年9月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

9月20日に実施された海上保安庁による上空からの観測では、噴火浅根周辺海域で、顕著な変色水や噴火によるとみられる浮遊物等は認められませんでした。噴火が発生する可能性は低くなっていることから、21日11時00分に噴火警報（周辺海域）を解除し、噴火予報（活火山であることに留意）に引き下げました。併せて、火山現象に関する海上警報を解除しました。
噴火の兆候はありませんが、今後も活火山であることに留意してください。

○ 活動概況

噴火浅根では、令和4年3月27日から28日にかけて、気象衛星ひまわりで噴煙とみられる雲域を観測したことから、噴火が発生したと判断し、令和4年3月27日に噴火警報（周辺海域）を発表しました。

その後、気象衛星ひまわりによる観測では噴火は認められず、9月20日までに繰り返し実施された海上保安庁による上空からの観測でも、噴火浅根周辺海域で、顕著な変色水や噴火によるとみられる浮遊物等は認められませんでした（図2、図3）。

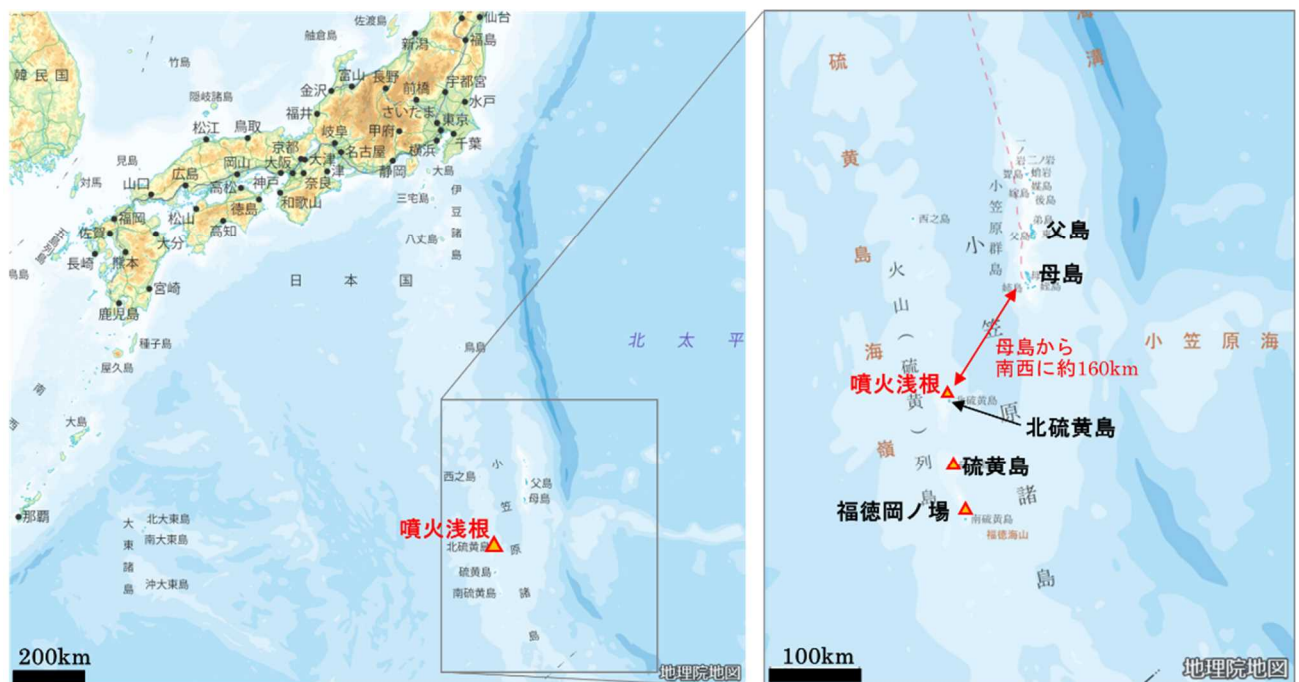


図1 噴火浅根 位置図

この火山活動解説資料は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は、海上保安庁及び海上自衛隊のデータを利用して作成しています。資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『電子地形図（タイル）』を使用しています。

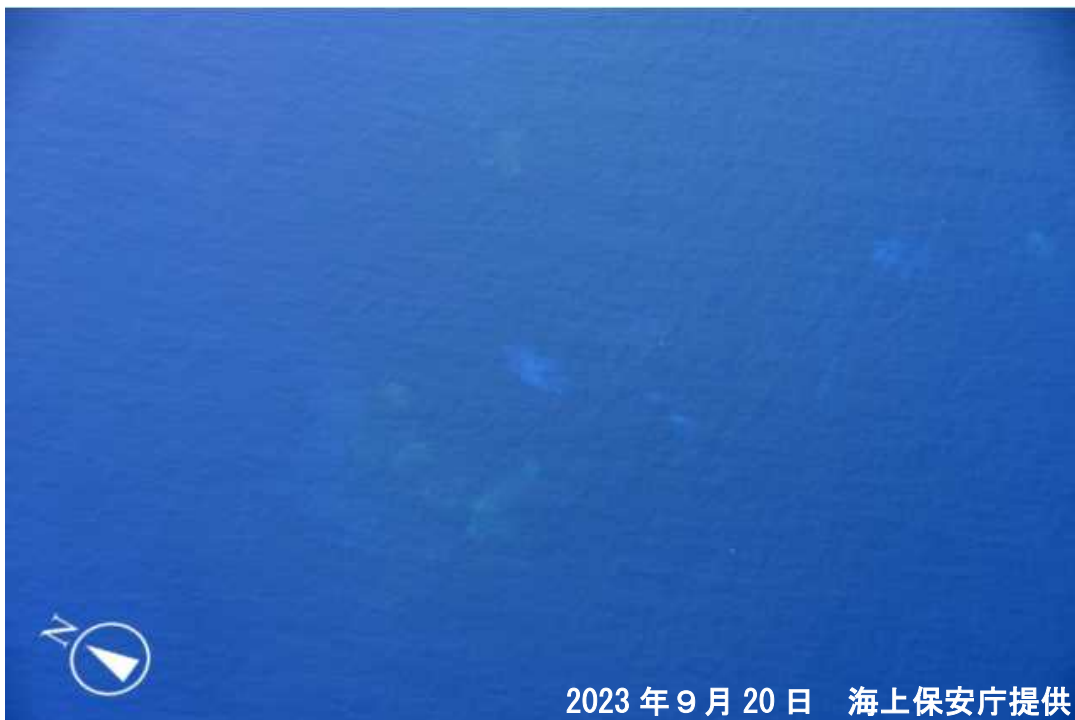


図2 噴火浅根 20日の状況

・20日に海上保安庁が実施した上空からの観測では、顕著な変色水や噴火によるとみられる浮遊物等は認められませんでした（写真には海底地形が青白く見えています）。

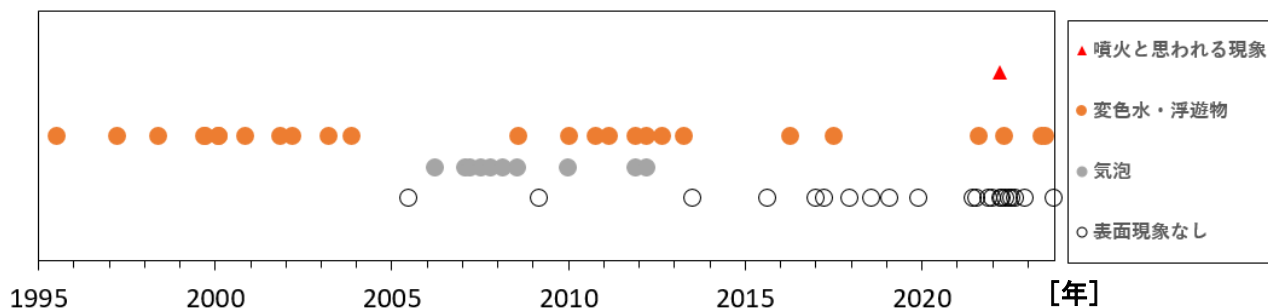


図3 噴火浅根 1995年以降の活動状況

シンボルがあるタイミングで観測が行われています。▲は噴火と思われる現象（気象衛星ひまわりによる観測）、●は変色水及び浮遊物の分布が認められた観測、●は気泡の湧出が認められた観測、○は変色水等を含め特段の表面現象が認められなかった観測を示します。
海上保安庁及び海上自衛隊の観測による。

- ・2022年3月27日から翌28日にかけて噴煙と思われる雲域が観測されて以降、噴火及び噴火によるとみられる浮遊物等は認められていません。
- ・上記の噴煙と思われる雲域が観測されて以降、海上保安庁が2023年5月11日及び同年6月14日に実施した観測で、噴火浅根付近にそれぞれ長さ約200m及び直径約50mの変色水が認められたものの、顕著な変色水は認められていません。